



asian youth orchestra

アジアユースオーケストラ横浜公演 2024



2024年8月28日(水)
19:00開演(18:00開場)

神奈川県立音楽堂

首席指揮者：ジョセフ・バステイアン
Joseph Bastian, Principal Conductor

チェロソリスト：アルバン・ゲルハルト
Alban Gerhardt, Cello Soloist

◆ラヴェル：ダフネとクロエ第2組曲
Ravel : Daphnis et Chloe, Suite No.2

◆ラロ：チェロ協奏曲
Lalo : Cello Concerto

◆ドビュッシー：交響詩「海」
Debussy : La Mer

◆ラヴェル：ボレロ
Ravel : Bolero



神奈川県立音楽堂

<https://shimo.stone-ink.jp/sheets/FbF4nO7yHUQy7WbS/Lp5B9>
JR桜木町駅 南改札西口、北改札西口から徒歩10分

入場料(全席指定) S席 4,000円 A席 3,000円 5月16日(木)発売

お問い合わせ・
ご予約 内村チケットオフィス 0467-77-7129
アートポケットカンパニー 090-2559-5629
チケット
取り扱い チケットかながわ <https://www.kanagawa-arts.or.jp/jp/tc>
チケットぴあ Pコード: 269982
teket <https://teket.jp/9951/34486>

*未就学児の入場はご遠慮願います。
*車椅子の方は座席の相談を承りますので、内村チケットオフィスへお問い合わせください。



Platinum Patron



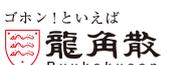
Official Travel Sponsor



Tour Partner



Concert Partner



主催：アジアユースオーケストラ実行委員会 後援：文化庁
共催：日本経済新聞社 協力：CROWN persuade FT
特別支援：香港経済貿易代表部
特別協賛：YKK

神奈川県文化芸術活動団体事業補助金対象事業



100名のアジアユースオーケストラのメンバーは、中国、香港、台湾、日本、韓国、インドネシア、マレーシア、フィリピン、シンガポール、タイ、ベトナムの11カ国・地域から選出された、才能豊かな若い音楽家で構成されています。

各地での厳しいオーディションをくぐり抜け、天津Juilliardと香港での3週間のリハーサル・キャンプに続き、国際的に活躍する著名な指揮者やソリストとの3週間のツアーを行います。毎夏約6週間の活動をしています。

創立から34年でチェロ奏者のヨーヨー・マ、ミッシャ・マイスキー、ワン・ジャン、アリサ・ワイラーシュタイン、ヴァイオリン奏者のギドン・クレーメル、ギル・シヤハム、エルマー・オリヴェイラ、ヤン・ウク・キム、諏訪内晶子、チョーリヤン・リン、服部百音、ソプラノのエリー・アメリング、ピアニストのアリシア・デ・ラローチャ、セシル・リカド、レオン・フレイシャー、ジャン・ルイ・スティアマン、ボザール・トリオらと共に共演しました。

また指揮者には、首席指揮者のジェーム・ジャッド、名誉指揮者のセルジュ・コミッション、アレクサンダー・シュナイダー、タン・ドゥン、オッコ・カム、マッティアス・バマート、ジョセフ・バステリアンそして偉大な音楽家である故ユードイ・メニューインと創設者リチャード・パンチャスを迎えてきました。

1990年以来、受賞歴のあるAYOは、アジア、ヨーロッパ、アメリカ、オーストラリアで430の公演を行い100万人もの観客を魅了してきました。これまで17歳から29歳までの2万人もの音楽家がオーディションを受けてきました。

選ばれた者たちは授業料なしでボルティモア、ボストン、バッファローフィル、アトランタ、サンフランシスコ交響楽団、モネ・オペラ・ブリュッセル、トリプル・ヘリックス・トリオ、ボストン、ピーバディ音楽院、天津Juilliard音楽院などからの音楽家による指導を受けています。

2010年高松宮殿下記念世界文化賞若手芸術家奨励賞、2015年第20回日経アジア賞 文化・社会部門受賞を受賞したAYOは、中国本土においては海外からのどのオーケストラよりも多くの都市・地域でコンサートを行い、ベトナムでは過去50年において初の海外からのオーケストラ公演となりました。

1997年に香港と北京でおこなわれた香港返還式では、タン・ドゥンの『交響曲1997』の世界初演でヨーヨー・マと共に共演しました。

ホワイトハウスや国連本部、ニューヨークのエイペリーフィッシャーホール、ハリウッド・ボウル、アムステルダム・コンセルトヘボウ、ベルリンのコンツェルトハウス、ウィーン・コンツェルトハウス、シドニーのオペラハウス、そして日本や東南アジアの国々で演奏して来ました。

音楽を志すアジアの青少年が、アジアにおいて自分達で音楽を作り上げることに誇りを感じ、有名アーティスト達との共演やツアーを経験することを通じて、優秀な才能が育まれ成長していくことを、AYOの真の目的としています。



首席指揮者：ジョセフ・バステリアン Principal Conductor : Joseph Bastian

2023年ツアーから始め、アジア・ユース・オーケストラは、若い世代の最もエキサイティングな才能の一人であるフランス・スイス人指揮者のジョセフ・バステリアンを首席指揮者に迎えている。ベルギー、ルクセンブルグ、ドイツと国境を接する、フランスのロレーヌ地方の出身であり、スイス系フランス人の家族に生まれ、チェロ、トロンボーン、及び作曲を学び、ザール音楽大学ではトロンボーンを専修した後、グスタフ・マーラー・ユース管弦楽団やミュンヘン交響楽団のアカデミーオーケストラのメンバーを経て、バイエルン放送交響楽団のバス・トロンボーン奏者を務める。

最近の公演ではバイエルン国立歌劇場、ブレーメン・ドイツ響、ベルリン DSO、ヘッセン放送協会交響楽団、ルクセンブルク・フィル、イル・ド・フランス国立管弦楽団、バルセロナ・イ・カタルーニャ国立管弦楽団、プラハ放送交響楽団、SWR交響楽団の指揮をしており、2022年にはチューリッヒ歌劇場スタジオでのデビューを果たし、ハイドンの『月の世界』の5公演を指揮している。

チェロ ソリスト：アルバン・ゲルハルト Alban Gerhardt, Cello Soloist

1969年にベルリンの音楽一家に生まれたアルバン・ゲルハルトは、8歳でピアノとチェロを始め、20歳の時からチェロ奏者としてのキャリアを歩み、91年にベルリン・フィル&セミヨン・ビシュコフと共に共演して以来、国際的なキャリアを築いている。コンサート・ホールでの公演に加え、学校、病院、公共スペースなどでの演奏にも情熱を向けており、特に2012年にはドイツの主要な鉄道駅でバッハの無伴奏チェロ組曲全曲を演奏し話題を呼んだ。そんなゲルハルトが「究極の挑戦」と語るチェロの聖典、J.S.バッハの無伴奏チェロ組曲のレコーディングが実現し、愛用している銘器マッテオ・ゴフリラー 1710のチェロで、バッハの超越的な美しさと魅惑的なシンプルさを描き、イギリスのハイペリオン (Hyperion) よりバッハ無伴奏チェロ組曲をリリースした。ハイペリオンにとっては、スティーヴン・イッサーリスの名盤 (CDA 67541/2) 以来となるバッハ無伴奏チェロ組曲となり注目され、ドイツ・チェロ界の新皇帝登場と評された。



AYO 2024 ツアースケジュール

8/1, 2, 3	香港	8/9	上海	8/17	バンコク	8/26	台北
8/4	珠海	8/11	北京	8/19	クアラルンプール	8/28	横浜
8/7	深圳	8/14	シンガポール	8/23, 24	嘉義	8/30, 31	東京